

# 筑前高鳥居城の再構築

## 今の財政状況では困難

問

他の町に比べて我が町にある誇りある歴史遺産筑前高鳥居城の再構築は我が町の歴史を知り、霊峰若杉山を父とし、昔は清流の須恵川を母として、郷土須恵町に育った者として他町にない潤いのある町づくり、それは町が提言する共生の町づくりに協働することだと思っています。

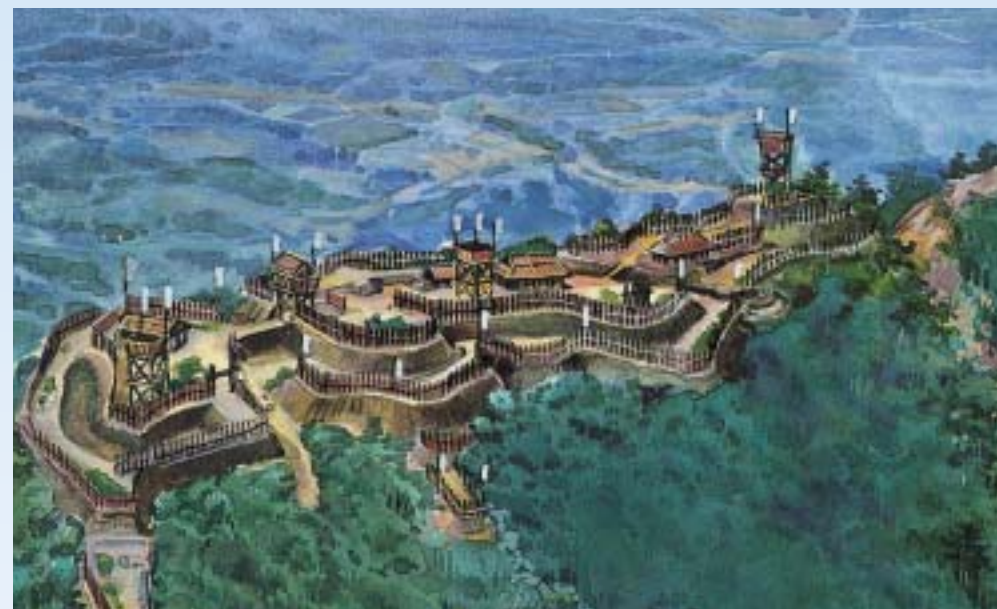
■答 中嶋町長  
高鳥居城周辺は、須恵町の埋蔵文化財に指定されています。何かを造ろうとすれば事前に発掘調査を行わなければなりません。面積が広いので、その経費が約5億円以上かかります。それから、福岡県立太宰府自然公園の指定地域になっており、構築物を

この城は一般的な平城（熊本城や大阪城等）と違い、土壁横掘・畝状

この城は一般的な平城（熊本城や大阪城等）と違い、土壁横掘・畝状



原野 敏彦 議員



イメージ図 書籍「徳川四天王」より

作るのに規制があります。史跡に基づき復元すれば厳しい問題があります。また、若杉山麓一帯に保安林の指定を受けており、その解除も難しい問題です。山城の復元が、観光資

源になるのか、教育資源になるのか、町の活性化につながるのかというものは厳しい状況です。調査の段階でまず今の財政状況では無理だと思っています。

# 名称変更の意図・取り組みは

## 新しいまちづくりをやっていくため

問

機構改革が行われ、「保健環境課」と「福祉課」が統合され「健康福祉課」になりました。

また、「企画課」が「まちづくり課」に名称が変わりました。

名称を変更した意図は何ですか。

名称変更をして新たな取り組みをする考えがありますか。

「まちづくり係」が設けられ生涯学習・コミュニティ事業等に関することが「社会教育課」から移行されました。



新たな取り組みが期待される「まちづくり課」

コミュニティがこれからの町づくりにどのような

な形でかわっていくこと（コミュニティの役割等）を期待されていますか。

■答 中嶋町長

行政改革集中プランにより17課を10課1室に減らしました。

職員数も163人から151人に減りました。

課を減らすと、仕事内容も変わるので課の名称も変わります。

仕事の内容も、一元化することにより行政効率が上がります。

まちづくり課を創ったのは、行政主導でやってきたものを住民と協働する形で、新しいまちづくりをやっていく、そのために創りました。

また、生涯学習は本来一般行政で行う事業です。まちづくりの基本になるのが生涯学習の理念です。だから、本来の姿に戻ったということです。

コミュニティに対して、私が最終的な目標として描いているのは、町税収の1割事業、1億2千万円を三つのコミュニティに分配して、運営していただけるようになっていただきたいと考えています。

コミュニティがふるさとづくりまでしていく、ふるさとイコールまちづくり、町の中心となっていくという考えをもっています。

# ここが聞きにくい!

一般質問



答弁中の中嶋町長